

文化財を守る

～鎌倉の文化財から考える防災～

E-0-3
防災・災害

【 対象 】 一般教員、司書教諭、司書、児童・生徒
一般 他

【 時間 】 50分

【 会場 】 多目的ルーム、会議室、教室など

【参加者の持ち物】
筆記用具
など

【準備】 模造紙等大きめの紙 地図 付箋 シール
キット 3-0-1-2 3-0-2-2 3-2-1-1 3-2-1-2
3-2-1-3 8-0-1-1 8-0-4 8-0-5 8-0-7
8-0-8 8-1-1-12

【 講師 】 不要

【 活動の流れ 】

- ① 鎌倉市のハザードマップにある文化財にシールを貼る。
※鎌倉の観光マップに史跡等が載っている。そこから見つける方法もある。
鎌倉市の地図を各班に用意
- ② 地震・津波の被害にあう可能性のある文化財を挙げる。
- ③ 資料の記事から、文化財を守るため各地でどのような取り組みがされているかを調べ付箋に書く。 場所・文化財・対策・その他（過去の経験）
- ④ 調べたことを班ごとに発表する。付箋に書いたものを大きな紙にも貼る。
- ⑤ ③④から日常生活にも生かせる災害に対する工夫や技を話し合う。
- ⑥ 災害について考えたこと・思ったことを④に貼る。

【 その他 】 文化財の防災から、日常の防災意識を改めて見直す学習です。鎌倉市を例に挙げていますが、各地域のハザードマップを使うと、身近な問題として考えられます。事前に3.11の写真を見せることで、学習への意識が高まります。